

厚陽 小・中・保 地域協育ネット情報

厚陽っ子だより



令和3年11月1日(第83号)厚陽学校支援地域教育協議会

先月号で、中学3年生による「地域の方へのインタビュー」についてお知らせしました。その中で、「厚陽の魅力は、子供とコミュニケーションがとれる事だね」との声が聞こえてきました。例えば、つい先日開催された厚陽ふれあいフェスタについて、子供たちに“どうだった?”と声を掛けると、きっと、頑張った事や感動した事など、目を輝かせて話してくれると思います。わが子に限らず色々な場面で、一人でも多くの厚陽っ子とコミュニケーションが取れると良いですね。(地域コーディネーターより)

★保小中合同避難訓練を実施しました。(R3.10.14)



地震発生直後に津波警報が発令されたことを想定し、保小中が連携して、避難所(旧中学校)まで避難訓練が実施されました。保育園児や低学年の子ども達には、上級生のお兄さんお姉さんがサポートをしながら一緒に避難しました。まだ小さい子ども達は、上級生と一緒に避難できるので、落ち着いて行動できていましたし、上級生のみんなは、いつも

以上に、たくましくみえました。このような保小中が連携した避難訓練ができるのも、厚陽地域のすばらしいところだと感じました。避難後は、安全サポーターの原さんや校長先生からの、「訓練を訓練で終わらせない意識が大事」、「想定外の事態になったときに、自分自身で判断する必要性」などのお話をみんな真剣な表情で聞いていました。

★秋のお芋収穫祭!(厚陽小・保育園・厚陽あそび隊)

厚陽地区で子ども達との収穫と言えば、やっぱりお芋ですね!毎年地域の方たちが子ども達のために準備をしてくださいます。厚陽小の1年生、厚陽保育園のあお組さんと保護者のみなさん、また、厚陽あそび隊と、様々な場面で子ども達に芋掘り体験をしてもらうことができました!地域のみなさん、ご協力ありがとうございました。



保育園お芋掘り

1年生お芋掘り

厚陽あそび隊お芋掘り
(※裏面に続きます。)

★中学3年生に俳句の授業！ (R3.10.1)



厚陽中学校の3年生が、平原先生から俳句について学びました！家から見えた夕焼け、花火、梶漁港、田んぼなど、生徒達は、俳句にしたい厚陽の風景写真をそれぞれ用意し、俳句にチャレンジ！平原先生の的確なアドバイスをいただきながら「才能あり」の作品をたくさん生み出していました。

★小学5年生、EM菌ってすごい！ (R3.10.7)



厚陽の自然をこれ以上傷つけないようにするため、EMの普及に努めておられる竹本先生に教えて頂きながら、5年生が、EM活性液づくりに挑戦しました。

生徒達は、ペットボトルに米のとぎ汁を入れて持参。この中にEM原液やEMえさとなる糖蜜・にがりを加えて、シェイク！日当たりの良い場所で発酵させて完成です。

★小学3年生に釘打ち支援 (R3.10.18)



子ども達の木材を使った作品の設計図を元に、どのように釘を打つか、見守り・助言などのお手伝いをしてきました。なかなかまっすぐに打てない釘に悪戦苦闘しながら、上手に釘を打つ方法を地域の方に教えていただきました！「こいのぼり」、「無敵の船」、「水・陸・空を移動できる船」、「大きな亀」、「スーパーマーケット」や「うさぎ」など、子ども達の自由な発想力で面白い作品がたくさん誕生しました！

★保育園よみきかせ、いよいよスタート (R3.10.20)



新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか実施できていなかった、絵本の読み聞かせがいよいよスタートしました！今回は、地域の方お二人が子ども達に読んであげたい絵本や紙芝居を持参して下さり、保育園で読み聞かせをしてくださいました。参加された方から、帰り際に、子どもから「きをつけてかえってね」と言ってもらえてすごくうれしかったという感想をいただきました。とても良い読み聞かせになってよかったです。

学校支援をはじめ、各種活動にご協力いただける方を募集しています。

できる時にできる範囲で構いません。お気軽に事務局までご相談ください。

【厚陽学校支援地域教育協議会事務局（厚陽公民館）】 Tel 74-8400 FAX:75-0628